

視点

「ぶっちゃん」改定は 実現するのか

最近、医療や介護関係者の集まりで「ぶっちゃん」という言葉をよく耳にする。これは、物価・賃金の略で、もはや医療や介護は、物価高や賃金引上げに応じた改定ができないと「ぶっちゃん」と破綻してしまうということのようだ。

今年の骨太方針では、「医療や介護等の現場で働く幅広い職種の方々の賃上げに確実につながるよう、的確な対応を行う。具体的には、高齢化による増加分に相当する伸びにこうした経済・物価動向等を踏まえた対応に相当する増加分を加算する」となった。これで、

年末の予算編成では、この「加算」でなんとか「ぶっちゃん」改定に対応できる道筋が開けた。

ところで昨年策定された「こども・子育て加速化プラン」では、児童手当の拡充や子育て支援のため3・6兆円の財源を確保する。そのため既定予算の活用で1・5兆円、医療や介護などの歳出改革を徹底し、公費で1・1兆円、保険料の軽減1・0兆円を行うと決定した。特に、保険料の軽減1・0兆円は、こども・子育て支援金に回ることになっており、平成8年度はその初年度として

6000億円の徴収がはじまる。一方で「ぶっちゃん」改定のため加算を行い、医療や介護の費用は増やす。保険料も増える。他方で、少子化財源ねん出のために、医療や介護の費用は減らす。こども・子育て支援金も導入する。これは、まったくつじつまが合わない。

最近石破首相は、社会保障改革へ超党派の会議体が必要だと言いつじつまが合わなくなっているのだ。年末までに、社会保障の財源について再構築が図られなければ「ぶっちゃん」改定は怪しくなる。

社会保険旬報

目次

No.2970 2025年7月21日

視点

「ぶっちゃん」改定は実現するのか 3

座標

国立大学病院の6年度決算▲285億円に
マイナ保険証の普及率ほぼ3割 4
DPC/PDPSの令和7年度特別調査
2024年国民生活基礎調査の結果を公表 ... 5

動向

病院の急性期と高齢者入院の指標
「必要度」を議論
—中医協・入院医療等分科会 6

論評

公的と私的の峻別
—医療保険
磯部文雄 10

全世代型社会保障への道筋^⑮

重荷を背負う次期年金改正
山崎泰彦 14

随想—視診・聴診

大変、どうする？
高山哲夫 15

潮流

参議院選挙に際し各党が重点政策示す ... 16
「新たな地域医療構想」の検討開始へ ... 18
厚労省が電子処方箋の新たな目標を示す ... 20
支払基金の6年度診療報酬確定状況 22
協会けんぽ2024年度決算見込みを発表 ... 24
レケンビの薬価を最大15%引下げへ 26
ヘルスケアPFが予算編成へ要望 27
都医の新執行部が初の定例会見 28

NEWS

厚労省保険局長に間隆一郎氏 ほか 29

資料

電子処方箋・電子カルテの
目標設定等について 39

経済スコープ 41

編集室・ワードカプセル 42